

ミナヅキ空模様

雨傘から垂れた一雫
積もり積もって足も重くなる
会える予定も運命もないけど
衣替えもまだ惜しい六月

湿気がからんで仕方ないな
色気したたる遠目からの君
水彩絵の具で筆走らせても
雨に滲んで掻き消されるの

ああ、明日は晴れるんだって
てるてる坊主を逆さに吊して
雨乞いの歌を歌おうか
どうせ叶いやしないけど

「スキ」が溢れて溺れそうだから
蛇口を捻って止めてしまおう
半分の人を幸せは
叶わないものなんだから

バイバイ、私の fall in lover

鳥山憂

滝の上から君に流されて
どこか遠くへ消えてしまおう
かけらとなって土へ還ろう

曇り空の隙間に見えた
眩しいほどの青い光
やっぱり君は晴れが好き？
とつくに知ってたはずなのに

ああ、もう梅雨が明けるって
こんな胸の高鳴る季節を
どうして終わらせてしまうの？
叶う望みもないけど

「アイ」が溢れて止まらないから
堤防を建てて塞ぎ止めてよ
半分の人を幸せは
叶わないものなんでしょ？

バイバイ、私の fall in lover
暑い太陽に身を焦がされて
巡り廻って君に逢えるなら
今度は綺麗な結晶になって
君の手の上で溶けたいな